

古文書を読もう

第29号

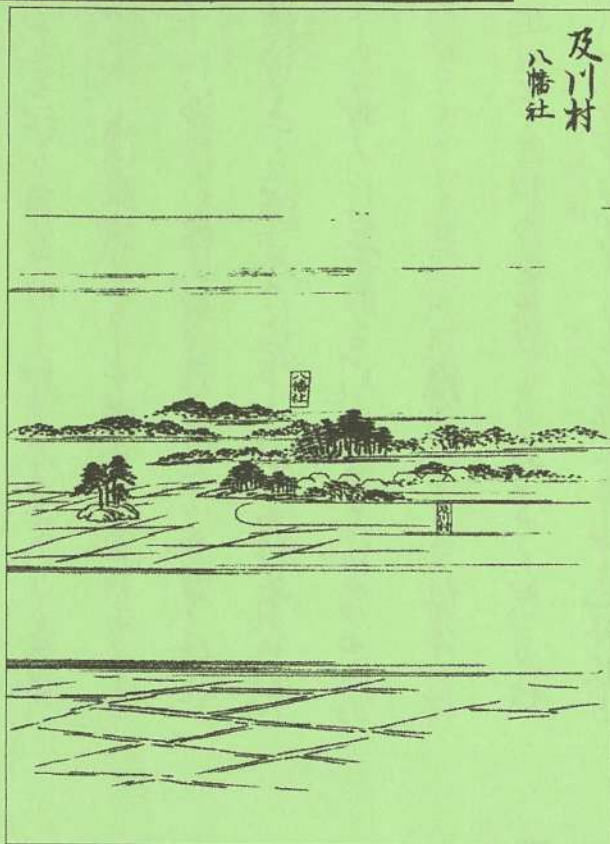
令和6年7月

古文書で知る郷土の歴史

古文書で知る郷土の歴史（十二）

『相中留恩記略』④

及川村
八幡社



絵図…国立公文書館所蔵版の絵図を加工

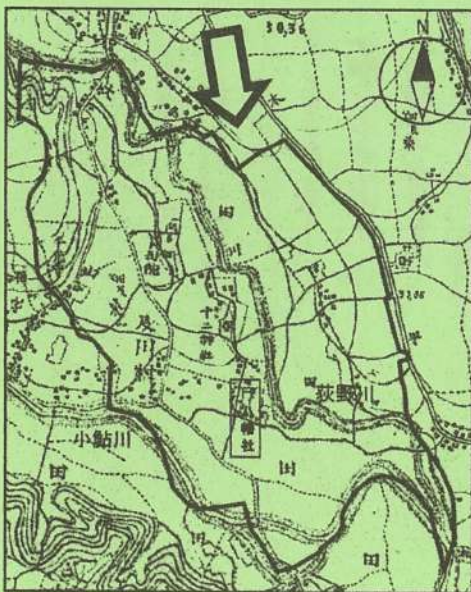
『相中留恩記略』四回目は及川村です。及川村は東が妻田村、西が飯山村、南側が小鮎川を挟んで林村、北が下荻野・三田の二村に接する小さな村です。

右の絵図には、遠くならかに連なる山並みを背景に中央に村社の八幡社（現・及川八幡神社）の森が、手前には小さな森に連なる集落の家並みや広く広がる田畑の中に浮かぶ小島のようなものが描かれています。

さて、この絵図ですが絵師の長谷川雪堤はどの方向か

ら村の姿を描いたのでしょいか。江戸時代の姿が色濃く残る明治一〇年代に作成された陸軍迅速図（左図）と絵図を見比べてみました。絵図に小鮎川あるいは荻野川と記されていれば比定しやすいのですが、八幡社や集落の相対的な位置関係、森や地形の配置から北側からの描画ではないかと推定してみましたがいかがでしょうか。気になるのが中央左の小島です。写真とは違って、絵図では実際見えないものも強調して描かれることがあります。塚のようにも見え、村にとっては大切な場所、あるいはいわれのある場所だったのかも知れません。なにか手掛かりが現存していると興味深いのですが。

江戸時代の絵図や古文書を手掛かりに、ふるさとの原風景に想いを馳せたり、現在に連なる昔の痕跡を探してみたりするのも古文書解説の楽しみではないでしょうか。



陸軍迅速図

厚木市古文書解説会

あつぎ郷土博物館に収蔵されている古文書の解説に取り組んでいます、興味のある方は第2、第3、第4木曜日に活動していますのでお問い合わせください。

あつぎ郷土博物館

TEL 046-225-2515

古文書を読もう

第10巻1号通巻29号

発行日 令和6年7月18日

発行 厚木市

編集 あつぎ郷土博物館

厚木市古文書解読会

〒243-0206

厚木市下川入一三六六一四

電話 〇四六一二五―二五―一五

FAX 〇四六一二四六―三〇〇五